

<https://www.fujielectric.co.jp/feec/>

富士電機E&C株式会社

Fuji Electric Engineering & Construction Co. Ltd.



企業サイト



企業紹介 Movie



2025.03



信頼し合い、
共に成長し、
未来を創る。

C O R P O R A T E P R O F I L E

富士電機E&C株式会社

Fuji Electric Engineering & Construction Co. Ltd.

About Us

総合×複合
という解決力。

設備に、総合力×複合力による付加価値を。
そして、明日の社会に躍動力を。

機能的な設備を通じて電気や空気、水、そしてデータが行き渡る時、産業は活性化し
暮らしさ豊かに広がっていきます。私たちは、こうした設備の設計から施工、保守までをワン
ストップでご提供するメーカー系総合設備企業です。富士電機グループのDNAを受け継
いた総合力と複合力を自在に組み合わせたソリューションにより、社会を力強く支え続け
ます。「もっと最適に。もっと快適を」……私たちは富士電機E&Cです。



History

旧富士電機E&C
株式会社

1923

東京市麹町区に
合資会社高千穂商会を創立

旧古河総合設備
株式会社

1947

前身である
七星興業株式会社を創立

1969

フジデンキ
エンジニアリング社
(タイ)設立

商号を
富士電機工事株式会社
に変更

1996

東京証券取引所市場第二部上場
(2022年にスタンダード市場へ移行)

商号を
富士電機E&C株式会社
に変更

1976

富士電機家電株式会社の再編により
富士電機総合設備株式会社を創立

商号を
古河電設株式会社に変更

商号を
古河総合設備株式会社
に変更

商号を
富士電機総設株式会社
に変更

これまでの100年を糧に、
これからの社会課題の解決に挑戦。

富士電機E&C、古河総合設備、そして富士電機総設。この3社が培ってきた多彩な
専門技術を一つに結集することでシナジーを最大化すべく、2009年に富士古河E&Cが
設立されました。その後、2025年2月に富士電機株式会社の完全子会社となり、富士
電機E&C株式会社として新たに出発いたしました。1923年に合資会社高千穂商会
として誕生以来、その歩みは1世紀に及びます。これからも設備エンジニアリングに
関する時代のニーズを敏感に捉えながら、未来社会の課題解決に挑んでいきます。

先進の技術を通じて、ライフラインからネットワークにいたる 社会基盤の構築を支援。

社会インフラ工事

上下水道や廃棄物処理施設、電鉄・道路といった公共施設の電気・機械設備の設計、施工により、豊かな社会を支えます。

産業システム工事

鉄鋼、製紙、石油化学など、産業プラントの受配電設備、各種制御・計装設備建設の計画から設備稼働に一貫対応。製造ラインの特性とお客様のニーズに合わせた最適設計、施工を実施します。

発電設備工事

水力、火力、原子力発電のみならず、太陽光・小水力などの次世代発電の電気設備工事にも柔軟に対応しています。

送電工事(架空線・地中線)

多様な地形・条件に応じた鉄塔の組み立てやケーブルの張り替えといった架空送電線工事や、都市景観の向上や自然災害に強い街づくりのためのケーブル地中電線路などの工事を行っています。



プラント工事業

施工実績



内線工事 | 芸術ホール



建築・土木工事 | ゴルフ場クラブハウス



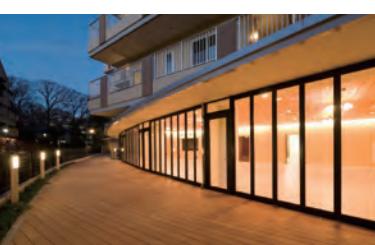
情報通信工事 | 非常電話設置



内線工事 | 舞台照明設備



内線工事 | 太陽光発電設備



内線工事 | 介護施設

施工実績



社会インフラ工事 | オゾン発生装置

発電設備工事 | 小水力発電設備

送電工事 | 架空送電線



社会インフラ工事 | 净水場

発電設備工事 | 非常用電源設置

産業システム工事 | 製鐵工場

内線・建築工事業

内線工事

工場などの生産設備や、官公庁施設、オフィスビル、マンションといった民間の電気設備を最適な設計とともにご提供します。

建築・土木工事

建物の新築、劣化診断、耐震補強工事およびリニューアル工事まで、一貫対応。専門工事のプロ集団ならではの効率的で高品質な総合建設工事をご提供します。

情報通信工事

IT時代とともに需要が高まる情報通信工事もお任せください。光ファイバ・ケーブルの敷設から、侵入検知システムや盗難防止システムなど、最新のセキュリティ設備の設計・施工、ネットワーク配線工事まできめ細かに対応します。

生産設備、オフィスや日々の暮らしに、 快適でエコな空調環境を拡大。

産業プロセス空調設備工事

生産設備工場やデータセンター、研究施設などで求められるクリーン環境。その実現を、湿度、気流、空気清浄を踏まえてご提案するとともに設計、施工まで対応しています。また、省エネルギー設備もご提供します。

一般空調・衛生設備工事

人々が快適にすごすために欠かせない空調や給排水・衛生設備の設計、施工に対応。オフィスビル、学校、病院、ホテル、ゴルフ場などの散水設備で多くの実績を重ねています。

空調設備 工事業

施工実績



海外事業

産業の発展と快適な暮らしへの想いは、世界共通です。1969年にタイに進出以来、私たちは東南アジアを中心にプラント、電気、空調などのエンジニアリングから施工、メンテナンスまでジャパンクオリティをご提供してきました。これからもグローバルな視点を持って各国の地域社会と協働しながら、現地の社会インフラ整備サポートをめざしていきます。

優れたジャパンクオリティの提供で、
東南アジアを中心とした海外諸国での発展を。

施工実績



海外関係会社

タイ	FUJI ELECTRIC E&C (THAILAND) CO., LTD.
ベトナム	FUJI ELECTRIC E&C (VIETNAM) CO., LTD.
カンボジア	FUJI ELECTRIC E&C (CAMBODIA) CO., LTD.
マレーシア	FUJI ELECTRIC E&C (MALAYSIA) SDN. BHD.



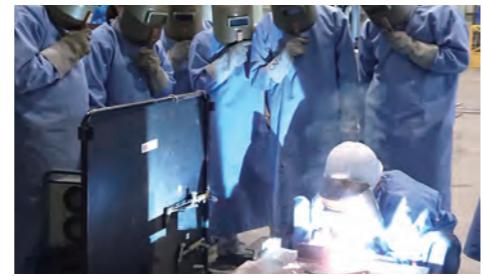
人財育成ビジョン
「STAR PLAN Next」により、
新たな時代に相応しい
プロフェッショナルを育成しています。

Vision

Recruitment
社会を力強く支えていくために、
人材こそを磨いていく。

設備という“モノづくり”は、“人間づくり”から。この想いとともに私たちが策定したのが、新たな時代に相応しいプロフェッショナル育成を推進する「STAR PLAN Next」です。2024年度より改訂し、従来のStudy(学び)・Think(考え)・Act(行動)・Realize(実現する)に加えて、次のステージ・時代に向けて、Sustainable(持続可能な)・Teamwork(仲間と共に)・Ability(能力を)・Research(探求する)人材を育成するために、新人研修から職責別教育、世代別教育、技術者育成教育、女性活躍推進教育など、充実した階層別教育を実施しています。

特に、技術系新入社員については、将来の施工管理者をめざす第一歩として1年間に及ぶ研修期間を設定。技術講習や現場実習、資格取得といったカリキュラムにより、施工管理技士、電気工事士など多くの有資格者が現場で活躍しています。



Mission
社員一人ひとりが
現場にこだわり、
「生涯エンジニア」を
貫いています。

計画段階から設計、施工、お客様への引き渡しまで、モノづくり現場は一時も目が離せません。その過程では、お客様との交渉、現場で作業する職人の方々への作業指示や安全管理、現場作業や進捗状況の確認、設計など業務は多岐にわたります。施工管理者として、工事全体の進捗状況を俯瞰しながら常に最適な方法を選択し計画通りに工事を完成させる……そのプロフェッショナリズムとともに、技術系社員の多くが生涯エンジニアとしてのこだわりを貫いています。

Message



代表取締役社長

日 下 高

価値創造プロセス

Value-Creation Process

富士電機E&Cグループは、社会課題や世界の潮流を機敏にとらえ、100年にわたって培った強みや経営資本を最大限に活かした総合設備事業を通じて社会価値・財務価値を創出することにより、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に挑み続けます。

詳細はこち

<https://www.fujielectric.co.jp/feec/company/value-creation/>



Sustainability

[ESG経営への取り組み]

私たち富士電機E&Cグループは、経営理念の実践により、サステナブルな社会の形成と企業の持続的成長を目指しています。事業活動を通じて価値を創造し、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献していくため、気候変動をはじめとするグローバルな社会課題の解決に取り組んでいます。

社会とともに永続的に発展していくために、環境・社会・ガバナンス(ESG)分野において優先的に取り組むべき重要課題「マテリアリティ」を特定し、それに対応する具体的な取り組みと2030年までの目標を定め、グループ一丸となって推進することでより良い未来を創ってまいります。

富士電機E&Cのマテリアリティ(重要課題)

マテリアリティとSDGs

富士電機E&Cグループは、事業を通じてSDGs達成をはじめとする社会課題の解決に貢献し、中長期的に成長していくために取り組んでいくべき8つのマテリアリティ(重要課題)を特定しました。

	マテリアリティ	対応するSDGs
環境 Environment	<ul style="list-style-type: none"> ■ 温室効果ガスの削減 ■ 自然エネルギーへの取り組み強化 ■ 資源循環型社会への貢献 	   
社会 Social	<ul style="list-style-type: none"> ■ 労働安全衛生の推進・施工品質の向上 ■ 健康経営の促進(働き方改革の推進) ■ 多様性のある人財の確保と育成 ■ 責任あるサプライチェーン・マネジメントの推進 	 
ガバナンス Governance	<ul style="list-style-type: none"> ■ コーポレートガバナンスの強化 	

具体的な取り組みや
KPIは富士電機E&C
のウェブサイトをご覧
ください。



社会課題の解決に向けて

■ ダイバーシティ&インクルージョン

社会のニーズに対応し永続的に発展していくため、多様性を尊重し、さまざまなバックグラウンドを持つ人財が活躍する組織づくりを進めています。65歳定年や再雇用の制度整備のほか、女性活躍推進においては、女性の技術系社員や管理職比率の目標を掲げ実現を目指しています。

■ 働き方改革(ワークライフバランス)

全社員が心身ともに健康で豊かな生活を送れるようワークライフバランスの実現を目指しています。課題解決に向けた働き方改革委員会の設置や健康相談室の常設に加えて、時差出勤やテレワーク、各種休暇制度の拡充などの具体的な施策を実行し、柔軟な働き方への取り組みを強化しています。

地域社会とのコミュニケーション

国内や海外拠点を有する東南アジアで、地域社会と連携した活動を展開

熊野古道道普請



世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全と活用を図るため、熊野古道中辺路において新入社員を中心とした道普請を行いました。

在日カンボジア留学生協会への寄付



教育環境に恵まれないカンボジアの子どもたちに、文房具や教材などを送り届けるため、在日カンボジア留学生協会を通して寄付を行いました。

タイ王国パタヤビーチ清掃



当社の現地法人があるタイ王国のパタヤビーチにて、約2kmの清掃活動を実施しました。